

5 行政評価の取組

(1) 行政評価の概要

市は、限られた経営資源を活用し、多様化する市民ニーズへの的確な対応を図り、持続可能で効果的、効率的な行財政運営を確立するため、PLAN（計画）-DO（実施）-CHECK（評価）-ACTION（改革・改善）のマネジメントサイクルの推進に取り組んでいます。行政評価は、市が行う施策や事務事業などについて、対象や目的を明確にしたうえで、その必要性や成果などを様々な指標により客観的に把握するとともに、有効性・効率性などの視点から評価するものです。

具体的には、まちの将来像「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」を実現するため、基本目標から事務事業までを体系化して評価を実施しています。こうした評価を通じて、行政活動の全体像を明らかにするとともに、評価結果に基づいた見直し、改革・改善に取り組んでいます。

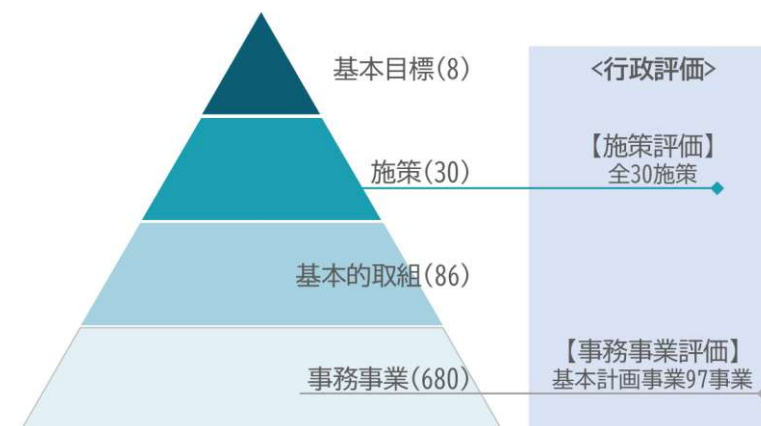
(2) 評価結果の概要・総括

全97の基本計画事業について、概ね「計画どおり」に進捗しています。また、施策の推進、成果向上に向けた4つの視点に基づく効果的な取組が図られています。

このように、令和7年度は、現行基本計画の3年次目として、市は、引き続き、市民の安全・安心の確保と市民生活支援を基調としながら、5つの重点プロジェクトを基軸に各施策や基本計画事業を着実に推進できたものと捉えています。

一方で、多くの事業において、有効性の面などでの改善余地があることから、更なる成果の向上に向けて、評価結果に基づく見直し、改善等の取組を継続的に推進する必要があります。さらに、基本計画の実効性を高めるため市における地方創生の取組を推進していくとともに、基本計画に基づくまちづくりを進めることでSDGsの目標達成につなげていく必要があります。

令和8年度は、現行基本計画（令和5年度～令和8年度）の施策体系に基づき、全30施策を対象とした施策評価及び全680の事務事業のうち、基本計画事業97事業を対象とした事務事業評価を実施しました。



【基本計画事業の取組実績及び実績別で見た今後の事業の方向】

	計画どおり	計画前倒し	計画遅れ
事業数	88	3	6
割合	90.7%	3.1%	6.2%
有効性改善	21	1	1
効率性改善	9	0	1
財政面改善	8	0	1
参加と協働改善	3	0	0
現状継続	66	2	3